

事業所名

キッズすてっがかいぜ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和6年

11月

1日

法人（事業所）理念		子ども・保護者・支援者の笑顔を大切にしたい会社を目指します。		
支援方針		ひとりひとりの子どもの発達段階や特性に合わせて、個別な支援計画を作成し、目標に向かって支援をおこないます。 また、遊びを通して様々な経験を重ねることで多様性を身につけ、お子さまの「できる！」「できた！」を支援します。		
営業時間		9時00分から	18時00分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	食事、排泄、清潔の習慣など基本的な生活の仕方が身につくように支援します。 いろいろなことに挑戦し、楽しみながら感性を伸ばし運動性や動作性を高めていきます。 体調の変化に留意し、来所時の検温や視診を行います。		
	運動・感覚	粗大運動や製作や工作、手先を使う運動を通していろいろな体験ができるように環境を整えます。 異年齢集団の中で、運動やレクリエーションに取り組み小集団での協調性を育てていきます。 聴覚や視覚において過敏や鈍麻がある特性を考慮し、環境を調整していきます。		
	認知・行動	ご利用日の日付、曜日、天気、スケジュールを視覚的に分かるように掲示し、見通しを持って生活できるように支援します。 一人一人の感覚や認知の特性からくる困難さを理解し、適切な対応を心掛けます。 目的意識を持った活動に取り組み、基本的なスキルの獲得や社会性の向上を目指します。		
	言語 コミュニケーション	基本的な生活の中の挨拶や会話のやり取りなど、コミュニケーションをとることができるように支援します。 イラストや写真を活用しながら、個々に合わせた支援方法を考慮し実践していきます。 職員や友達とのやり取りの中で、言葉を遣って気持ちを伝え合うことができるように積極的に働きかけていきます。		
	人間関係 社会性	異年齢児集団の中で、お互いに思いやる気持ちを育てます。 事業所外活動や地域の社会資源への見学を通して、ルールやマナーを習得します。		
家族支援		毎日の連絡帳のやり取りを大切に、利用者様の様子や気付きを保護者様と伝え合います。 ブログや「かいぜ便り」に活動の様子を掲載し情報の共有化を図ります。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた、就学に向けた連携を行います。
地域支援・地域連携		相談支援事業所や佐世保こども発達センターとの連携を進めます。 他事業所やこどもふくし協議会と情報を共有し、事業所の運営に活かしていきます。	職員の質の向上	法人内研修会や外部研修会に積極的に参加し、一人一人の質の向上に努めています。事業所内で虐待や身体拘束、感染症、ハラスメント、BCP、安全計画の研修を行い、課題をみつけ自己研鑽の場となっています。
主な行事等		<季節のイベント> 夏祭り ハローウィン 芋掘り クリスマス会 かるた大会 卒園、卒業お祝い会 <事業所外活動> 公園で遊ぼう 図書館で読書を楽しもう 外食体験 買い物体験 キッズ農園 観劇 科学館、博物館見学 <レクリエーション> サーキット遊び クッキング ゲーム大会 ミニ運動会		

事業所名

キッズすてっがかいぜ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和6 年

11 月

1 日

法人（事業所）理念		子ども・保護者・支援者の笑顔を大切にしたい会社を目指します。		
支援方針		ひとりひとりの子どもの発達段階や特性に合わせて、個別な支援計画を作成し、目標に向かって支援をおこないます。 また、遊びを通して様々な経験を重ねることで多様性を身につけ、お子さまの「できる!」「できた!」を支援します。		
営業時間		9 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	食事、排泄、清潔の習慣など基本的な生活の仕方が身につくように支援します。 いろいろなことに挑戦し、楽しみながら感性を伸ばし運動性や動作性を高めていきます。 体調の変化に留意し、来所時の検温や視診を行います。		
	運動・感覚	粗大運動や製作や工作、手先を使う運動を通していろいろな体験ができるように環境を整えます。 異年齢集団の中で、運動やレクリエーションに取り組み小集団での協調性を育てていきます。 聴覚や視覚において過敏や鈍麻がある特性を考慮し、環境を調整していきます。		
	認知・行動	ご利用日の日付、曜日、天気、スケジュールを視覚的に分かるように掲示し、見通しを持って生活できるように支援します。 一人一人の感覚や認知の特性からくる困難さを理解し、適切な対応を心掛けます。 目的意識を持った活動に取り組み、基本的なスキルの獲得や社会性の向上を目指します。		
	言語 コミュニケーション	基本的な生活の中の挨拶や会話のやり取りなど、コミュニケーションをとることができるように支援します。 イラストや写真を活用しながら、個々に合わせた支援方法を考慮し実践していきます。 職員や友達とのやり取りの中で、言葉を遣って気持ちを伝え合うことができるように積極的に働きかけていきます。		
	人間関係 社会性	児童発達支援の利用者様を含めた、異年齢児集団の中で、お互いに思いやる気持ちを育みます。 事業所外活動や地域の社会資源への見学を通して、ルールやマナーを習得します。 活動の確認をしながら、考えて行動できる力を育てていきます。		
家族支援		毎日の連絡帳のやり取りを大切に、利用者様の様子や気付きを保護者様と伝え合います。 ブログや「かいぜ便り」に活動の様子を掲載し情報の共有化を図ります。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据え、進学、就労に係る関係機関との連携を行います。
地域支援・地域連携		相談支援事業所や佐世保こども発達センターとの連携を進めます。 他事業所やこどもふくし協議会と情報を共有し、事業所の運営に活かしていきます。	職員の質の向上	法人内研修会や外部研修会に積極的に参加し、一人一人の質の向上に努めています。事業所内で虐待や身体拘束、感染症、ハラスメント、BCP、安全計画の研修を行い、課題をみつけ自己研鑽の場となっています。
主な行事等		<季節のイベント> 夏祭り ハローウィン 芋掘り クリスマス会 かるた大会 卒園、卒業お祝い会 <事業所外活動> 公園で遊ぼう 図書館で読書を楽しもう 外食体験 買い物体験 キッズ農園 観劇 科学館、博物館見学 <レクリエーション> サーキット遊び クッキング ゲーム大会 ミニ運動会		